

NEWS RELEASE www.jogmec.go.jp



独立行政法人 石油天然ガス・金属鉱物資源機構

問合せ先: 地熱部地熱探査課 久谷 TEL:03-6758-8380

広報担当: 総務部広報課 西川 TEL:03-6758-8106

「地熱資源ポテンシャル調査」の開始

～地熱資源調査を効率的に実施して地熱資源開発を促進するため、

最新の空中物理探査手法による広域調査を開始～

JOGMEC(本部:東京都港区、理事長:河野博文)は、地熱資源調査を効率的に実施して地熱資源開発を促進するため、10月初旬から九州の「くじゅう」地域及び「霧島」地域において、ヘリコプターを用いた最新的手法による空中物理探査を開始します。

1. わが国に賦存する世界第3位の地熱資源を有効に活用するためには、個別地域における地熱資源調査が必要不可欠であるため、こうした地域の調査を効率的に行うことが必要となっています。
2. このため、JOGMECでは、国による地熱資源調査支援事業の一環として、広域において地熱資源のポテンシャル評価(地熱資源量評価)を効率的に行うべく、九州の「くじゅう」地域及び「霧島」地域においてヘリコプターを用いた空中物理探査「地熱資源ポテンシャル調査」を開始します。
3. この空中物理探査で取得したデータと、既存のデータや文献と合わせて総合的に解釈することで、地熱ポテンシャルの評価が可能となります。今回は、地熱資源ポテンシャルが高く、かつ既往調査が多く行われている「くじゅう」地域及び「霧島」地域で調査を行い、その後は順次、各地で実施していく方針です。
4. また、得られた調査結果は防災(地すべり、火山活動等)や温泉保全等の用途にも有用と考えられ、関係省庁や関係自治体等に提供していく方針です。

以 上

〈調査詳細〉

(1) 調査地域

〈じゅう地域

- 1) 調査時期：10月初旬～10月中旬
- 2) 調査地域の面積：約550 km²

霧島地域

- 1) 調査時期：10月中旬～10月下旬
- 2) 調査地域の面積：約280 km²

(2) 作業主体：株式会社フグロジャパン



調査地域位置図

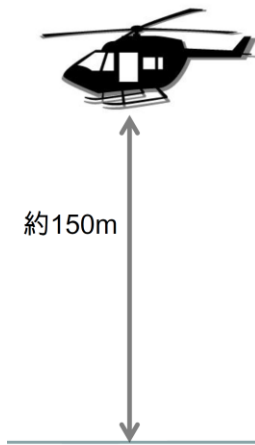
〈参考〉

本調査で用いる調査手法と期待される効果

手法	特徴	期待できる効果
空中重力偏差法探査	地下の岩石密度分布を測定できる。	・広域的な地質構造の把握
空中電磁探査 (時間領域空中電磁探査)	地下500m程度までの岩石の電気抵抗の分布を測定できる。	・高温の熱水や蒸気が存在する地層の電気抵抗の把握 ・防災対策(地すべり地帯の把握)にも活用可能。
空中磁気探査	岩石の磁氣的性質な性質を測定できる。	・地熱や熱水と関係のある火山岩(地熱変質帯)の分布の把握。

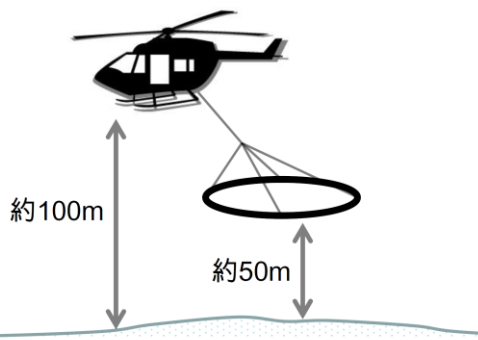
【空中重力偏差法探査】

- 地下の岩石密度分布を測定。
- ヘリコプター内に計測機器を搭載。



【空中電磁探査／空中磁気探査】

- 地下の岩石の電気抵抗分布を測定する。
- ヘリコプターから計測機器を吊り下げる。



空中物理探査の模式図



空中重力偏差法探査用機器



空中電磁探査による測定風景